

香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園の整備説明会の記録

日時：平成 29 年 11 月 30 日（木）午後 7 時～9 時 10 分

場所：香里ヶ丘図書館集会所 参加 79 人

この記録は、説明会で出されたご質問・ご意見並びに回答の要旨を記したものであり、テーマ毎に編集しています。

1. 説明

- ・これまでの経過と図書館・公園の機能連携について
- ・公園の整備、機能連携について
- ・図書館のゾーニングとスケジュールについて

2. 質疑応答

【コンセプト・設計について】

Q：公園と図書館のブリッジやスロープは設計案のようにつくるのか。図書館の中に本の道をつけるとなっているが、そのまま公園につながるのか。

A：図書館と公園をつなぐというコンセプトを生かせる設計としてブリッジやスロープなどの活用を考えています。本の道については、北側の傾斜は急で、実際に抜けられるようには考えていません。

Q：機能連携について。公園施設利用に料金化も出てくるのか。

A：機能連携について、民間事業者が使う形になれば有料でということもあるかもしれませんが。これから提案されるものによると考えています。イベントの要望もアンケートに記入していただきたいです。

Q：ハード面の連携について、図書館は図書館、公園は公園で別個に整備ということは可能か。市としては譲れないのか。ブリッジ、スロープは絶対に譲れないのか。

A：ブリッジについて、当初提案を受けた設計では3ヶ所で図書館と公園をつなぐことを考えています。図書館利用者が公園に移動できるメリットはあると考えています。エレベーターを使って高低差を解消して公園へ行けるなどの利点もあります。図書館が建て替わるのに合わせて公園も使いやすさを求め、一から作り直すのではなく、部分的な改修や改良で、今以上に使いやすくしたいと考えています。皆様からご意見をいただいて多くの利用をしてもらえようになりたいです。ジョギング、ウォーキング、体操など、高齢者も利用してもらえようにと考えると、ブリッジやスロープといった手法は、必要であると考えて検討しています。公園みどり推進室としてもできるだけ図書館と公園の連携を考えなくてはと思っています。

【図書館整備等について】

Q：利用者は日本人が多いのにブラウジングとか、アウトドアライブラリーなどの名称をなぜ使うのか。

A：ブラウジングなどの言葉はこれまでも図書館では使ってきており、一般的にもよく使われるようになってきていると思いましたが、わかりやすく置き換える言葉があるのか検討します。

Q：駐車場の出入口について、現在もさくら通りの30mほどの間に3ヶ所もあり、出入りが困難なようだ。ピーコックの駐車場はほとんど埋まることがなかったと思う。民間と協力して今ある駐車場を共有するとかできないのか。

A：駐車場については、足の不自由な方やマタニティの方などへの配慮の要望もいただいています。出入口等の安全面を考えて交通対策の部門とも対策を協議していきます。

Q：集会室はこれまで無料だった。幼稚園の保護者の集まりとか、ヨガ教室とかなどの活動が有料になるとできなくなる。サービスの低下になる。地域住民は無料にしてほしい。

A：これまでの経過は承知しています。集会室は図書館の活動にも集会活動にも必要と考えていますが、他の地域との公平性ということで他の生涯学習市民センターと同様、有料にします。

Q：屋根について、ソーラーパネルが大きく、長い柱で人も入れるほどに見える。風にも弱く非常に危険と思う。子どもは危ない。公園に向けて傾斜している。小さいパネルを何枚も置くとか、安全安心の屋根にしてもらいたい。

A：屋根やソーラーパネルについても、安全第一に検討します。

意見：図書館1階の自習コーナー部分は一般書の閲覧座席にしてほしい。座席数が少なすぎる。西側ティーンズコーナーと健康コーナーは4方向から出入りできるように。子育て・子どものコーナーの高書架は圧迫感があるので5段までの木製書架にしてその他は木材のシンプルな壁面にしてもらいたい。

意見：屋上広場は図書館にふさわしくない。スロープや中が見えるガラス面もいらない。図書館は図書館らしくシンプルに建ててもらいたい。

意見：愛称を募集して、例えばアラカシの森の図書館とか、森に囲まれた図書館など親しみのもてる図書館に。

意見：図書館の子育て広場、良い。授乳室、ベビーカー置き場、子どもの声は止められないので気兼ねなく利用出来る配慮は嬉しい。

意見：駐輪場の有料化はやめてほしい。一台ずつ停めるなら、市駅前の駐輪機具は電動自

転車が止められず友人が苦心している。配慮してもらいたい。

【公園整備について】

Q：香里ヶ丘団地は公園や樹木を多く残した団地。この景観、環境を壊さないようにしてもらいたい。図ではアラカシの森を削っている。絵本にもなっているアラカシを守ってもらいたい。

公園内に道が何本もあるが、東側にはいない。

A：安心して利用できる公園にするためにどうしても伐採するところが出てきます。図はイメージなので、アラカシがない絵になっていますが、このとおりにする考えはありません。アンケートや説明会でのご意見を踏まえ、どういう整備をするのか決定していきたいと考えています。

Q：中央公園の状況について、樹木はどのように調査されたのか。調査に納得いかない。書かれている木の種類、内容が実際と違う。野鳥も多い。この内容では地形を生かす公園にならず、欠点ばかりあがっている。

A：木の名称間違い等お詫びします。市でも、現在の公園の良い所、緑多い公園というところも十分理解しています。香里ヶ丘中央公園は昭和 40 年代にでき、新しい公園とは違う良さがあるのを残して行くのは大事と考えています。安心、安全に利用していただくためには、老朽化して倒木のおそれがあるものは伐採し、必要があれば植え替えることも必要と考えています。

Q：駐車場を 12 台以上作るとなっているが山を削って拡張するのか具体的に聞きたい。

A：駐車場の拡張については、現在多目的広場用にあります但不足しており、近隣の迷惑にもなっています。山を削らずにできるだけ確保する方向です。これから設計を進めます。

Q：昔は自然豊かで窓を開けて寝られた。公園を、防犯のために見通しをよくするということだが、動物の餌取り場でもある。鳥も多い。緑を残した公園に是非してもらいたい。外来種は切って良い。枚方の木を使って図書館の何かを作るとか、館内に暖炉を作ったり里山の間伐材をチップにするとか枚方の木を循環させてほしい。けもの道も残しながら人間と動物の共存について市の職員が講師になってビオトープを作るとか公園で講習会をするなどしてもらいたい。職員が先頭をきって最先端の自然保護を行政主導でやってもらいたい。

A：外来種でとげのある枝のニセアカシアなど、伐採する樹木はしぼります。緑を増やす取り組みは実施しています。行政で進めるよう言われましたが、市民が主役の協働を実施しています。例えばアダプト（里親）制度を取り入れ、公園や道路の清掃、花壇の緑化などで、花は行政で準備して植えていただく講習会も取り組んでいます。皆様と一緒に考え、公園を作って、育てていくこと進めて行きたいと思っております。ハード面は市

が、ソフト面については時間をかけて進めて行くべきと思いますので、市民と協力していきたいと考えています。

Q：公園の明るい広場構想について。現在のバラ園はゴミ放り放題。芝生公園にするというが、高低差はどうするのか。

A：バラ園の高低差について、図はイメージなので、アンケート裏面の3（1）の記入欄に書き入れてもらい、地域の皆さんの意見をいただきたいと考えています。

Q：イベント広場、外置きのいすなども良いが、木を残して木陰を作るとか、夏場の暑さを考えてもらいたい。

A：広場の木陰について、どのようにするか。できるだけ木を残すとか、イベントができるようにとか、相反する意見もあります。これからご意見も聞きながら進めます。

Q：公園の整備について、図ではなく現地でここがこうなるとかこうなる予定とかの説明会をしてもらいたい。

A：現地での説明会も他の公園でもしています。これから地域と共に作りたいと考えているので、できるだけ対応したいと考えています。具体的なことをアンケートに書いていただくこともお願いしたいです。

意見：60年近く、香里ヶ丘団地の初めから住んでいるがその頃に比べると緑は減っているが、利便性は高まった。そういうことを考えてバランスのよいまちづくりを考えてもらいたい。

木の伐採の話について、観音寺山公園の清掃を15年続けているが、高齢化もあり掃除に参加する人も減って、公園利用は荒れている。松の大木が先の台風で倒れ、大変な被害が起こりうるころだった。集会室についても、移管されてからずっとボランティアで世話をしている。年2回大掃除もしている。維持管理のためには初めから人を雇用する必要を考えるべきで、そうすると費用が発生する。公園の樹木も折れて散らかっている。森、緑の維持もバランスを考えないと、「木を切るな」「守れ」だけでは自然は維持できない。体験から言っているなので、十分配慮してもらいたい。

意見：手入れのしやすい公園を新しく作りなおしてもらいたい。人口減少、少子高齢化のこんにち、経費もかからない近代的な公園に。古い根が出ていて土が崩れかけているような危ない木は思いきって切って、一からやり直してもらいたい。

意見：ゾーニングイメージを資料の3、7、8、9で見ると、木が減らされると見える。4年くらい鳥の調査をしている。常時15種くらいいて、珍しい鳥も来る。延べ50種くらいになる。昆虫もたくさんいると思う。今ある形でこの状況だからこそ希少なことなので、森林を残してもらいたい。

【公園管理について】

Q：公園の地図の上にマンションと幼稚園がある。マンションの下の山は何をしようとしているか。木をあまり伐採すると、マンションの3階まで視線が公園にいる人と合うほどになる。対策を考えてもらいたい。

Q：バスケットゴールで遊ぶ音が夜中までしている。夏場は打ち上げ花火の音も。警察に通報したこともある。夜中利用できない施設にしてもらいたい。

A：夜間のバスケットボール、花火などについて、香里ヶ丘中央公園だけでなく、公園の週末、夜間の巡回警備は市が委託して注意等しています。あまりひどい場合は警察とも協力しています。今回の整備とは別と考え、いつでも、ご相談いただきたいです。

【スケジュールについて】

Q：実施設計はいつできるのか。できるだけ休館期間を短く。

A：休館期間を短くということについて図書館も同じ気持ちですが、今でも非常にタイトなスケジュールになっています。今回の整備は更地に新築ではなく、今あるものを壊してまわりの法面、擁壁も整備し、それから建て替えるのでこの工事期間は必要です。その間は代替サービスをご利用いただきますようお願いいたします。説明会という名前ではありますが、一方的に説明して終わりではなく、回答できる範囲では回答して対話していると考えています。これとは別にワークショップを開くことは考えていません。基本設計は30年3月の予定。説明会で概要をお示しします。実施設計は30年8月の予定です。

Q：スケジュールについて、アンケートの集約、回答はいつか。アンケートの回答について1月下旬などに説明会が必要ではないか。3月に回答されて設計というのでは意見を活かす期間がない。他の方の意見を知る期間が必要。

Q：意見を聞くというが来年3月に説明会では意見を入れる時がない。もう2~3回市民説明会が必要。南部生涯学習市民センターは3~4年ワークショップをやって、一定納得できるものができた。図書館もせっかく作ったのに市民が納得できるものが作られなかったら職員も残念だろう。

A：予算、工期などの制約があるなかで業務を進める必要があるので、そのことも踏まえて回答はしていきます。あと2、3回の説明会やワークショップを何年もかけて開催することはできません。

【意見聴取について】

Q：5月に、ワークショップを数回ひらいてほしいと要望したが、開催ということにならなかった。自分たちで建築士に日立案を見てもらい、そのことを図書館へ説明に行くと何度も対話してもらえた。自分たちが作成した資料も配らせてもらえたのは良かった。今後も多くの人との対話、キャッチボールをしてもらいたい。やはりワークショップは開催してもらいたい。森に囲まれている図書館を売り言葉によそでまねのできない図書館

を作ってもらいたい。駅前で人通りがあるところ、街中の図書館とは違う。図書館と公園は別。本の道など人が通り抜けるだけの通路はいらない。屋上のイベント広場も不要である。次の説明会は充実した内容にしてほしい。それまでも説明会やワークショップを開いてもらいたい。

A：市民対応は、質問に返事をするなどやりとりしています。ワークショップは日程的に難しいので実施しません。アンケート裏面3-(2)に記入欄があるのでご記入をお願いします。アンケートもキャッチボールの手法の一つと考えています。説明会しかご意見をきかないということではありません。他の公園についても、ご利用いただいているなかで電話をいただいて、対応してきています。

Q：次の説明の時には設計士も同席して、直接意見をきいてもらいたい。

A：設計士は本日も同席していますが、ご意見への回答は職員からしています。

【その他】

Q：近くの分室を全部つぶすとは。市はあとに何をするのか。高齢者のたまり場にするとかいうことを考えているのだろう。分室はすべて続けてほしい。

A：今年5月に出した「枚方市立図書館分室等の見直しに関する基本的な考え方」についてのご意見と思いますが、以前は、自動車文庫や分室が貸出の中心だった頃もありましたが、図書館も建ち、利用圏域、利用状況等から見直しを考えています。例えば氷室分室は他の図書館施設から離れており、少ない利用でも残していく考えです。現在も見直しの対象となる分室の地域と話し合いを進めています。

Q：図書館の書籍について、小6の息子は図書館に行っても読みたい本が無く、きたないといって本屋に行っている。予約を進めても面倒ということ。箱ものより本の充実。今の本をそのまま移動させるのではあまり期待できない。本の入替え、新刊を購入してほしい。予約制度は便利だが人気のある本は半年待ちでは新刊ではなくなっている。図書館も待ちの姿勢でなく、攻めの姿勢で市民に新しい本を提示してもらいたい。

A：図書費等が限られている中で、人気の本に予算をつぎ込むと他の本が買えなくなります。公共図書館はいろいろな人に利用してもらおうところなので、いろいろな本をそろえていく必要があります。人気の本だけを買うことはできませんが、図書費の確保に努めていきます。

意見：香里ヶ丘図書館が建つから他の分室をつぶすというのはおかしい。その地域の方は困る。